

SEIWA

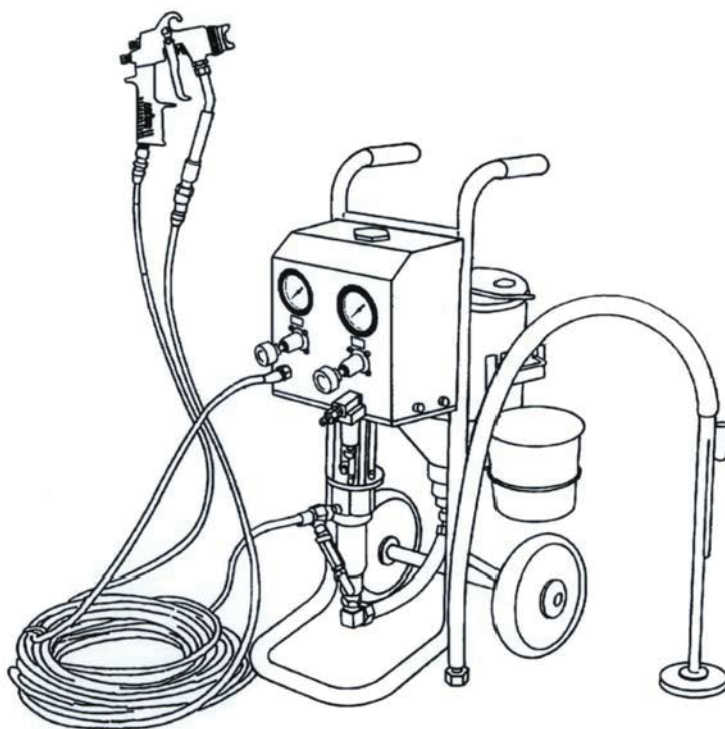
OPE-MAN/ACS/2507

エアミックススプレーシステム

エアコートスプレー

型式 **ACS-1223**

取扱説明書

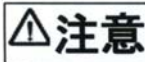


ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく
お使いください。誤った取り扱いは機械の故障や
大変な事故につながります。
機械を操作する前にいつでも見られるように大切に
保管してください。

この度は **SEIWA** 「エアコートスプレー ACS-1223」 をご選定
いただきまして厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、より正しい操作で、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 不明な点やお気付きのことがございましたら、お買いあげ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

△印付きの下記のマークは安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

 危険	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性 が大きいことを示します。
 警告	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性 があることを示します。
 注意	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性 があることを示します。
 留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

目 次

1, 仕様諸元表	1
1-1 仕様標準セット	1
1-2 エアークートガン	1
2, 使用上の注意(安全にご使用いただくために)	2
3, 各部名称	3
4, 運転操作手順	4
4-1 準備	4
4-2 始動	4
4-3 運転	4・5
4-4 停止・洗浄	5
4-5 終了	5
5, エアークートガンの操作	6
6, 上手な使い方と使用条件例	7
7, 保守・点検	8
8, トラブル対策	9

1 仕様諸元表

1-1 仕様標準セット

型 式		A C S - 1 2 2 3	
最大吐出量		1.62 ℓ /min (60 サイクル)	
最大使用圧力		16Mpa	
圧力倍率		23 : 1	
最高使用エア－圧力		0.7Mpa	
寸法(W×H×L)		435×995×545	
重量		15kg	
所要コンプレッサー		2～3ps	
セ ット 内 容	本体セット	ACS-1223 本体 (ホッパーセット, 連結ホース, ホッパージョイント付) サクションホースセット ビーカー ビーカー受け 工具セット 取扱説明書 スーパーカプラ 02PFF	
	標準セット	本体セット エアーコートガン ACG-2 プラスノズル 1640 エアレスツインホース 10m	
エア接続口		G1/4 (PF1/4) オス	
塗料出口		G1/4 (PF1/4) オス	

1-2 エアーコートガン

型 式		A C G - 2	
最高使用塗料圧力		12Mpa	
最高使用エア－圧力		0.7Mpa	
エア使用量		180N ℓ /min (ガン入口 0.3Mpa 時)	
手元フィルター		200 メッシュ	
重量		600g (手元フィルター含む)	

2 使用上の注意(安全にご使用いただくために)

高圧力に注意

- 人体に向けて絶対にスプレーガンの引き金を引かないでください。安全のため塗装作業を行わない時や、ノズルチップを外す場合は必ずセフティロックをかけてください。
- スプレー口に手や口を当てたり、のぞき込んだり絶対にしないでください。身体を傷つける事があり非常に危険です。
- 塗料ホースを強く引っ張ったり無理に曲げたりしないでください。また、外観に傷がついていたり、折れ曲がっていたり、つぶれたりしている塗料ホースは破裂して塗料が吹き出す恐れがあり、危険ですので絶対に使用しないでください。
- 接続部は漏れがないようしっかり締め付けてください。漏れが発生した時は、直ちに機械を停止させ、エア抜きの状態にし、塗料圧力を下げてください。
- 空気圧は 0.7Mpa 以上は絶対に上げないでください。ポンプ本体、塗料ホース、スプレーガンに耐圧以上の圧力がかかると、漏れ、破裂の恐れがあります。
- ホース金具の締付けはトルク 2.5 kg/m を超えない範囲で漏れない程度に締付けてください。強く締付けすぎると金具部が損傷する恐れがあります。

設置場所の注意

- 本機を傾けたりせず、水平な地面に設置して使用してください。転倒等による故障の原因となります。
- 関係者以外やお子様は近づけないでください。誤った操作や、いたずらにより思わぬ事故を招きます。

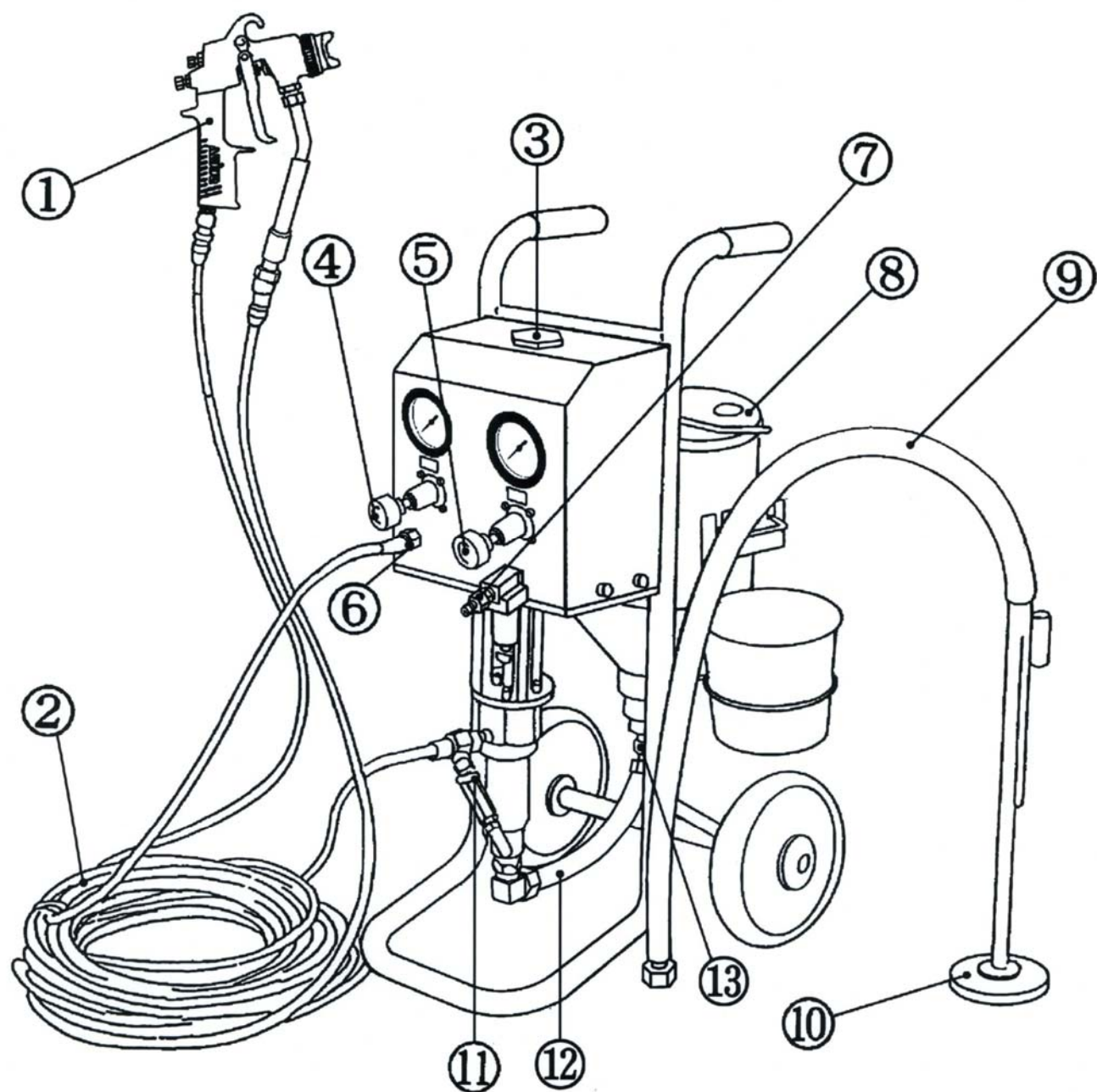
静電気に注意

- 高圧力で塗料を霧化するため、静電気が発生することがあります。火花放電による事故を防ぐため、本機及び被塗物を必ず接地(アース)してください。スプレーガンは塗料ホース(通電性のあるもの)を通して接地(アース)されます。
- 被塗装物も接地(アース)してください。静電気が被塗装物にもたまることがあります。
- 必要以上にシンナーだけの噴出は避けてください。引火すると危険です。
- アース線はガス管へは絶対に接続しないでください。ガスによる火災、爆発事故につながる可能性があります。

運転操作に関する注意

- 供給エアには正常なエアを用いてください。動作が不安定になったり、早期の故障につながります。
- ポンプを空運転させないでください。早期の故障につながります。
- 安定した性能を得るために、定期的な保守・点検を行ってください。

3 各部名称



①エアコートガン ACG-2

②エアレスツインホース

③ヘッドキャップ

④レギュレーターエア圧力

⑤レギュレーター塗料圧力

⑥エア出口

⑦エア入り口

⑧5ℓホッパー

⑨サクションホース

⑩サクションフィルター

⑪エア抜コック

⑫連結ホースセット

⑬ホッパージョイント

4 運転操作手順

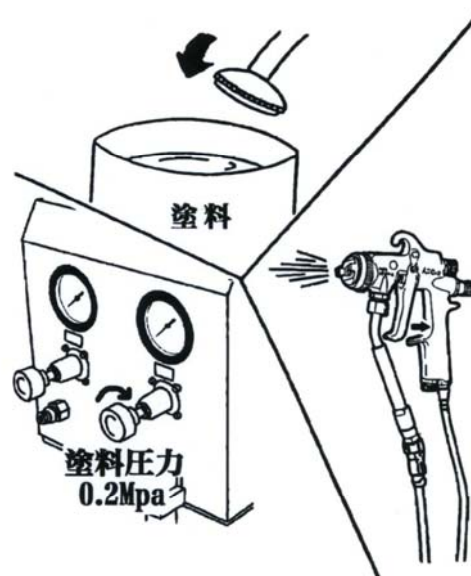
4-1 準備

- ①ポンプ本体へホース、ノズル、サクションホース、フィルター又は5ℓホッパー、連結ホースをしっかりと取り付けて下さい。
- ②レギュレーターのつまみを左に回し、ゆるめて下さい。
- ③コンプレッサーからのエアホースをエア入り口に接続して下さい。
- ④パッキンの固着防止のために、シンナーカップに使用する塗料にあった溶剤をカップの半分くらい入れて下さい。



4-2 始動

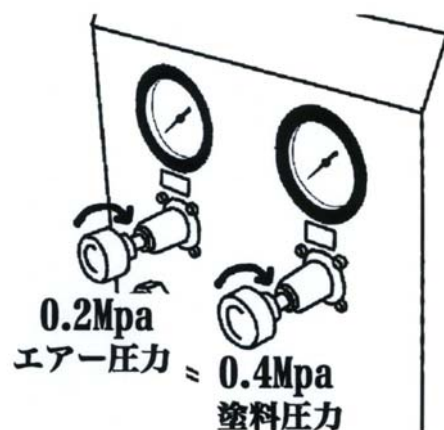
- ①コンプレッサーの元栓を開いて下さい。
- ②サクションフィルターセットの付いたサクションホースを塗料容器へ入れて下さい。(5ℓホッパー仕様の場合はホッパーに塗料を入れる)
- ③レギュレーター塗料圧力を右に回して圧力が0.2Mpa 前後になる程度に上げて下さい。ポンプが作動します。
- ④ガンの引金を引き、ホース内のエアが抜け、塗料が出てくるまで運転して下さい。
ガンの引金を放すと、ポンプは自動的に停止します。



☞ ガンのセフティーロックをかけ各部に漏れがないかチェックして下さい。

4-3 運転

- ①捨て吹きをしながら、塗料圧力を0.4Mpa 前後に設定して下さい。
- ②エア圧力を0.2Mpa 程度に設定して下さい。



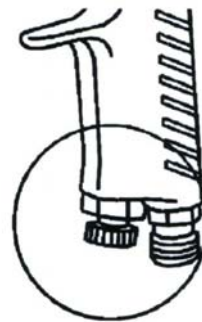
4 作業操作手順

4-3 運転

③捨て吹きをしながら、エア圧力を上げていき、テールが消え、適正な霧化状態になるように調節して下さい。

④ガンの調整して(エアークートガンの取扱説明書を参照)作業を開始して下さい。

エア量調節弁



(ACG-2Mタイプのみ)



4-4 停止・洗浄

①レギュレーターエア圧力を左に回してエア圧力を0にして下さい。

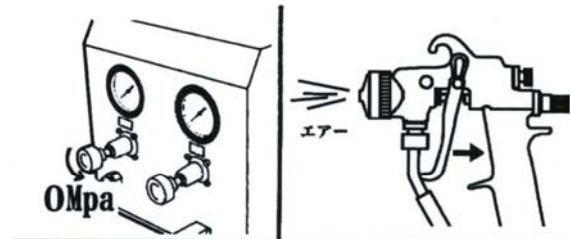
 この時、引金を少し引いて、エアーを逃がすと表示が下がりやすくなります。

②塗料容器から、サクシオンホースを引き上げ、ガンの引金を引き通路内の塗料を抜いて下さい。

 この時、レギュレーター塗料圧力を0.1~0.2Mpa位まで下げて、飛び散らないようにして下さい。また、ノズルを外すと早くできます。

③洗浄用のきれいな溶剤を用意し、サクシオンホースを入れてポンプを作動させ通路内を洗浄して下さい。

④上記②同様にして溶剤を抜いて下さい。



通路内洗浄

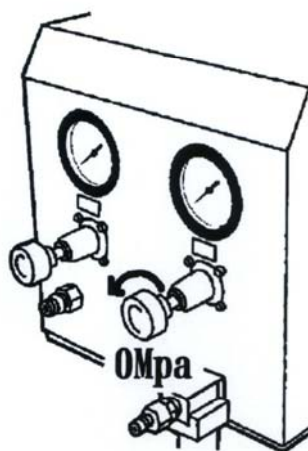


4-5 終了

①レギュレーター塗料圧力を“0”にして下さい。

②コンプレッサーの元栓を閉じて下さい。

③各フィルター、エアークャップノズルを取り出し、ゴミや塗料などの詰まりを除いて下さい。



サクシオン
フィルター



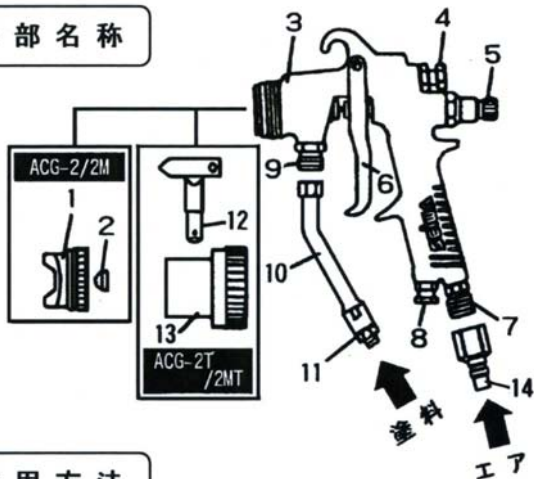
ガンフィルター



エアークャップ

5 エアコートガンの操作

各 部 名 称



	品 名	備 考
1	エアキャップ	ACG-2/2M
2	ノズル	ACG-2/2M
3	ガン本体	
4	パターン調整ノブ	
5	セフティロックノブ	
6	引金	
7	エア口	
8	エア量調整ノブ	ACG-2M/2MT
9	塗料口	
10	フィルターセット	
11	継手	
12	ターンクリーンチップ 2 型	ACG-2T/2MT
13	ボディーセット (ACG タンクリーン) 2 型	ACG-2T/2MT
14	スーパーカプラ (O2PFF)	

使 用 方 法

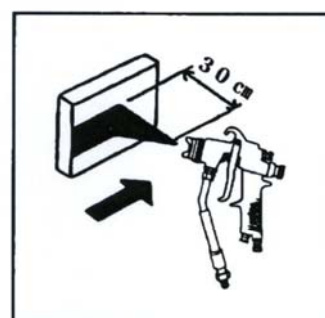
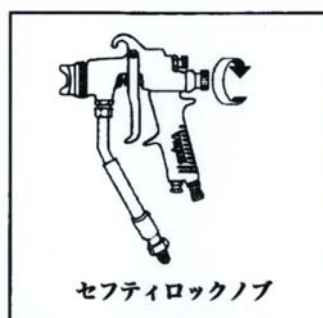
■付属の No. 14 スーパーカプラ (O2PFF) を取り付けるとワンタッチで O2SN スーパーカプラ (別売) と接続出来ます。

- ①ACG-2/2M⇒エアキャップにノズルのピンを合わせて装着ガン本体に取り付けてください。
ACG-2T/2MT⇒ターンクリーンチップをエアキャップ上部から差し込み、ガン本体に取り付けてください。
- ②ACG-2T/2MT⇒フィルターセットをガンに取り付けてください。
さらに継手のネジにエアレスホースをしっかりと取り付けてください。
- ③エアホースを本体のエア口に取り付けてください。
- ④セフティロックノブ (No. 5) を右にいっぱい回すと、塗料のバルブが開かないようロックされます。
- ⑤パターン調整ノブ (No. 4) を右に回すとパターン幅は広くなり、左に回すほどパターン幅は狭くなり、丸吹きに近づきます。

⚠ 注 意

ACG-2 はエア量調整ノブがありません。必ずエアレギュレーターを使用してください。

- ⑥ノズルが詰まった場合は、外して、逆方向からエア等で吹き付けして除去して下さい。
- ⑦ノズルが詰まったらセフティーロックをかけ、詰まりを除去します。
ACG-2/2M⇒ノズルを外し逆方向からエアにて吹き飛ばし除去してください。
ACG-2T/2MT⇒ノズルを半回転させ引金を引き詰まりを除去してください。
- ⑧使用後は塗料は塗料通路を溶剤で洗浄してください。



6 上手な使い方使用条件例

(1) 吐出量を増やし作業性を高める場合

- ①塗料圧を上げる。
- ②口径の大きなノズルを使用する。

(2) 塗料ミストを少なくし、より良い塗装環境で作業をする場合

- ①塗装肌を確認の上、ガンエアーの圧力を低めにする。
- ②被塗物に合ったパターン幅のノズルを選定する。
- ③塗装肌を確認の上、塗料粘度を1～3割高めにする。

(3) より細かい粒子により美粧仕上げ

- ①塗料圧を高める。
- ②ガンエアー圧を高めにする。(0.4Mpa 以上)
- ③口径の小さなノズルを使用する。
- ④塗料粘度を1～2割下げる。

(4) 使用条件例

作業例	塗 料	ノズル口径 [inch]	ポンプエアー圧力 [Mpa]	ガンエアー圧力 [Mpa]
メラミン焼付上塗り	メラミン	0.011 又は 0.013	0.4	0.2
メラミン焼付下塗り	メラミン	0.011～0.013	0.4	0.15
木工	ウレタン ラッカー	0.013	0.4	0.2
ラッカー系	ラッカー	0.013	0.4	0.2
軽防蝕関係	ジンクライト 赤サビ	0.013～0.016	0.45	0.15
フタル酸系	—————	0.013～0.016	0.4	0.2

※上表は参考例としてお考え下さい。実施においては、塗料の粘度・仕上げ要求度・環境によって数値が多少異なってきます。

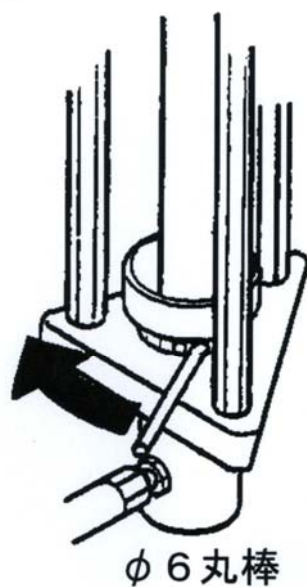
7 保守・点検

7-1 定期手入れ

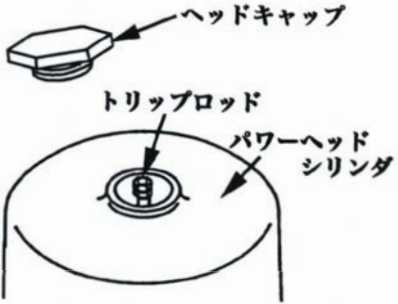
作業終了後	洗浄 (4-4 停止・洗浄②～④、4-5 終了③ 参照)
200 時間毎 又は 漏れ発見時	①Vパッキンの増締め (下記参照)
500 時間毎	①下ポンプ、エアーモーター部の各摺動部に多めにグリスを塗る
1000 時間毎	①機械全体のオーバーホール ②摩耗部品の交換

※各部のパッキン、ボールシートは、塗料の種類により摩耗する時期が異なります。上記の使用時間にかかわらず、適切な時期での交換が必要です。

7-2 Vパッキンの増締め



8 トラブル対策

現 象	原 因	対 策
ポンプが作動しない	a. ポンプ圧が低い b. ポンプの圧入部故障 c. ポンプの切替不良	a. 圧力を上げる 0.2~0.3Mpa b. 修理 c. 圧入した状態でポンプ上部のヘッドキャップ (P3 各部名称参照) を外し ハンマーでトリップロッド (棒) を軽く叩く  注) 必ず圧入した状態で行ってください。加圧状態でヘッドキャップを外すと圧入が漏れ、危険です。
ポンプは作動するが塗料が出ない、又は少ない	a. サクションフィルターの目詰まり b. サクションフィルターが塗料中に浸かっていない c. 通路内の圧入が抜けていない d. 下ポンプの弁固着、ゴミ詰まり e. 下ポンプの弁、パッキンの摩耗 f. 手元フィルターの詰まり g. ノズルの詰まり	a. 掃除 b. 塗料中に入れる c. 圧入抜きをする d. 下ポンプの分解・掃除 e. 交換 f. 掃除 g. 掃除
パターンが悪い	a. 圧入キャップ穴の汚れ詰まり b. ノズルの部分的詰まり c. 塗料圧力が低い	a. 掃除 b. 掃除 c. ポンプ圧を下げる

エアーコートスプレーの使用開始前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入してください。
点検の時に大変役に立ちます。

項 目	ご 記 入 欄		
型 式	ACS-1223	ご使用開始 年 月 日	
製造番号		ご購入先 (必須)	TEL ()
ご 購 入 年 月 日		※必ずご記入ください	

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

- ・登録場所／精和産業トップページ右側「保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	TEL 052-412-1717
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡 山	710-0841	倉敷市堀南606-1	TEL 086-426-5200
福 岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	TEL 0989-43-4495